



RI第2620地区
静岡第2分区



ご存知ですか？この人。～あの人・自分 Watchingで親交を深めよう～

●行動タイプ：オリジナルタイプ ●どんな人？：人真似大嫌い、自分流！ ●言われて好きな言葉：独自、個性的、オンリーワン&ナンバーワン ●タブー：自分のペース、空間を乱されること ●思考：目標思考型 ●仕事の傾向：人と違うことが価値という思考。今まで誰もやっていないことをどういう方法、戦略で成立させるかが得意。応用と言うよりは、創造する才能がある。自分の仕事は「自分が認めているかどうか」自己評価をして進む ●能力：実務的な作業も的確にこなす。表現力、説得力と対話力に優れる ●今後：強いオリジナリティを持っているので、ややもすると独りよがりになりがち。柔軟性を持ちながらオリジナルで個性的なものを発信していると評価がぐんぐん上がります ●2018年転換：いよいよ収穫のトキ、今までの苦勞がやっと実を結ぶ年。とにかく動きの激しい年で新しい事に興味を持ち、未来のイメージを強く持つトキ。

今週のこの人／中村仁 君・1969年 1月7日生れ
ISD ビジネスロジックマスターインストラクター／チェリースター(株)小野美貴 先生

会長挨拶

伊豆中央RC会長 長友範充君



皆様こんにちは。本日は小野登志子伊豆の国市長、菊池豊伊豆市市長を始め、松村友吉ガバナー、また地区役員の皆様をお迎えしての、静岡第2分区インターシティミーティングに、7クラブの多数の会員の皆様のご出席をいただきまして、このように盛大に開催できますことに、ホストクラブである伊豆中央ロータリークラブを代表致しまして、心から御礼申し上げます。

土屋龍太郎ガバナー補佐は今回、「奉仕の人、米山梅吉」また米山記念館をIMのテーマに掲げられました。先ほど飯田実行委員長のご挨拶にもありましたように、この2月4日は米山翁生誕150年でありました。また来年は財団法人米山梅吉記念館設立50周年を迎えます。

ロータリーも大きな変革の時期を迎えている今、再度日本のロータリーの創始者、米山翁の足跡、またその考えを学び直すことは、我々のこれからのロータリー活動に大変有意義なことと思います。また、今回のIMはこの第2分区最後のIMでもあります。2620地区の分区再編により、次年度にはこの第2分区も第一グループと第2グループに再編され、新たにスタートします。

今回のIMが、ロータリーの原点とも言うべき米山翁を学び直し、ロータリアンのあるべき姿を、原点に立ち返って再考

する機会になれば、またこの地域の誇りとも言うべき米山梅吉記念館の存在意義を再確認しその発展に寄与することができれば、素晴らしい事と考えます。それに加えまして、今回この第2分区の最後のIMということで、是非、親睦も十分に深めていただきたいと思います。

我々ホストクラブと致しましては、飯田実行委員長を中心にクラブ一丸となって準備を進めてまいりました。何かと不都合なこと、また失礼なこともあるかとは思いますが、ロータリアンの友情に免じてお許し願えれば幸いです。

最後に、会場をご提供いただきました株式会社東レ様に感謝を申し上げ、本IMが皆様にとって有意義なものとなることを祈念致しまして、歓迎の挨拶とさせていただきます。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	33/41	80.49%	36/41	87.80%
今回	32/41	78.05%	会員総数:47名	

<欠席者>

- ・河田君 ・木下君 ・杉山君 ・高木(基)君 ・土屋君
- ・中村君 ・松田君 ・渡辺(妙)君 ・渡辺(光)君



● ガバナー補佐挨拶

伊豆中央RC 土屋龍太郎君

静岡第2分区のインターシティーミーティングの開催のご案内を致しましたところ、小野登志子伊豆の国市長、菊地豊伊豆市長のご臨席のもと、松村友吉地区ガバナーを始めとする多くのロータリーの諸先輩、並びに分区内7クラブのロータリアンにご参集賜り、盛会裏に開催されますことを心から感謝申し上げます。

インターシティーミーティングの目的は、会員相互の親睦と面識を広めることと、ロータリー情報を共有することだと言われています。当分区内にある米山梅吉記念館の永続的支援に向けた合意形成を図るため、改めて、米山梅吉翁についての理解を深める機会と致したいと考えています。

RIイアン・ライズリー会長のテーマは、「ロータリー:変化をもたらす」であります。112年の長い歴史を持つロータリーは、会員と地域社会のニーズに対応しながら変化してきましたが、根底にある物は不変であり、地域社会と世界に変化を生み出したいと願い、奉仕を通じて社会に変化をもたらしてきました。

それを受けて、村松地区ガバナーは、変化すべきものとも守るべきものを見極めることで、未来のロータリーを考えようと、言われています。グローバル化、IT化、少子高齢化が進む社会環境の中で、組織の維持にどう取り組むかがロータリーの将来を左右致しますが、そのために本質を見失っ

ては元も子も無くなってしまいます。

本年度は、分区再編という大きな変化に向けての準備の年でした。分区或はグループの意義、ガバナー補佐の役割や選出方法、IMの在り方等に関する議論の過程で、変えるべきものを守るべきもの見極めが出てきました。

折角の機会故に、地区の下部組織としての役割に加えて、近隣クラブを代表し地区と地域との繋ぎ役としての機能を明確にして、グループを構成するクラブと会員にとって、有益な変革となるよう意を遣いだ協議の結果、つい先日、新第1グループの運営規約が纏まり、次年度へ引き継いだところであります。

分区再編の結果、第2分区7クラブは、駿東地区3クラブが第3分区と合流し第2グループ、三島田方4クラブが第1分区と合流し第1グループとなりますが、7クラブのロータリアンが一堂に会して米山翁についての勉強することによって、私達が20数年にわたり培ってきた連携という土台の上に、米山記念館を永続的支援していこうという合意・柱を立てようという思いであります。

三島・田方・賀茂の9クラブの第1グループと、富士・沼津・駿東の12クラブの第2グループの接続点に位置する記念館を、大切に守り続けることで、私達の連携を維持していこうではありませんか。

